

## 教科目名 公園緑地計画 (Plan for greenery and open space)

学科名・学年 : 都市システム工学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 幡東 孝則

| 授業の概要  |   |   |           |
|--|---|---|-----------|
| 公園緑地の種類や必要性及び公園緑地計画における現状や問題点などについて学習し, それらの知識を活用した公園緑地計画の演習を行いながら, 計画における基本的な方針や計画手法の習得を目標とする. 演習はワークショップタイプで進め, グループ毎に発表を行う. |   |   |           |
| 達成目標と評価方法  |   | 大分高専目標 (B2)   |           |
| (1) 公園緑地の効用や種類などを理解する. (定期試験)  |   |   |           |
| (2) 計画の手法を理解する. (定期試験)   |   |   |           |
| (3) 演習にて確認する. (課題)   |   |   |           |
| 回  | 授 業 項 目   | 内 容   | 理解度の自己点検  |
| 1<br>2<br>3<br>4<br>5<br>6<br>7<br>8   | 緑の効用<br>課外授業<br>公園緑地の種類<br>緑化の目的<br>演習 (1)<br>演習 (1)<br>公園緑地計画の手法<br>動線計画 | 何故, 公園緑地が必要なのか.<br>校内での緑地の役割について<br>公園緑地の種類と役割について<br>緑化手法の目的と種類について<br>緑化手法の確認 (道路緑化)<br>身近な緑の種類と目的について確認<br>計画の手法について<br>動線計画の種類と目的について | 【理解の度合い】  |
| 9  | 前期中間試験  |   | 【試験の点数】 点 |
| 10<br>11<br>12<br>13<br>14   | 前期中間試験の解答と解説<br>演習 (2)<br>演習 (2)<br>演習 (2)<br>演習 (2)                      | 中間試験の解説とゾーン計画について<br>動線・ゾーン計画について<br>街区公園の条件設定<br>街区公園の計画<br>街区公園のグループ発表及び解説  | 【理解の度合い】  |
| 15   | 前期期末試験  |   | 【試験の点数】 点 |
|  | 前期期末試験の解答と解説  |   |           |
| 履修上の注意   |   | 演習 (作図) をグループで行う授業であることを理解しておくこと.   | 【総合達成度】   |
| 教科書  |   | なし  |           |
| 参考図書   |   | 「計画と設計の実際」北村信正・技報堂<br>「都市公園技術標準解説書」日本公園緑地協会など   |           |
| 自学上の注意   |   | 日常生活の中で, 常に公園緑地について意識した生活を心がける.   |           |
| 関連科目   |   | 建築学概論   |           |
| 総合評価   |   | 定期試験の成績 (80点) と演習の成績 (20点) で評価する. また, 授業態度により, 評価点からその 20% を上限として減点し, これを総合評価とする.<br>総合評価の 60 点以上を合格とし, 再試験は実施しない.                        |           |